

《大あざみ》昭和35年(1960) 73.0×91.0cm



青木繁、モネ、マティス、
そして富岡鉄斎を愛した画家

正宗得三郎 MASAMUNE Tokusaburo

府中市美術館
Fuchu Art Museum

ハローダイヤル：03-5777-8600

2017年11/3(金・祝)▶12/28(木)

休館日 月曜日 開館時間 午前10時から午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料 一般700円(560円)、高校・大学生350円(280円)、小・中学生150円(120円)

※常設展 観覧料を含む ※ ()内は20名以上の団体料金。※未就学児および障害者手帳等をお持ちの方は無料。
※府中市内の小中学生は「府中っ子学びのパスポート」で無料。

青木繁の「情熱」、モネの「光」、マティスの「響き」、そして富岡鉄斎の「心」で描いた画家

「音楽のように色彩(気韻)で、生き生き(生動)と絵を描きたい!」

正宗得三郎は、昭和37年(1962)79才まで片時も休まず制作を続け、誰も到達できない独自の高みへと至りました。

得三郎は、明治16年(1883)に穏やかな瀬戸内海に面する岡山備前市の、文芸を愛する旧家(長兄は小説家正宗白鳥、次兄に国文学者正宗敦夫)に生まれ、はじめは日本画家を、つぎに油彩画家を志し東京美術学校に入学しました。一学年上の明治の天才画家青木繁から、絵画に対する「情熱」のその激しさを学びました。卒業後、渡仏し、モネからは、直接出会う「光」を、さらにマティスからは、「色彩」の響きを学びました。

しかし、第一次大戦では、留学を中断され、中野に建てたアトリエも太平洋戦争の空襲によって、作品は全て焼失。やむなく知人を頼り長野県飯田に疎開。信州の豊かな山河に囲まれ、馴れない畑仕事に汗を流すうちに、季節に輝く山河の彩りと山里の人々の深い温もりに接しました。西洋に学び、南画を愛し、山里に暮らしたことで絵に変化が生まれました。戦後から没年まで武蔵野の緑豊かな府中を描き続けたのです。正宗は、最後の文人画家、富岡鉄斎の作品を研究し、日本の風景を、明るく澄んだ色彩で、柔らかな「心」の理想郷として油彩画に描きました。

年下で無名の長谷川利行の絵をどうしても評価しない審査委員に、「この絵は、私たちの先生の絵だ」と激しく主張し、頬を紅潮させた画家。

先人に学び、誰の評価も求めず、ただ一人、我が道を絵に描き、描いた道を歩み続けた画家。

二科会、二紀会の重鎮でありながら、頑として絵と向き合い続けた画家。

正宗の戦中の飯田時代、戦後の府中時代の作品約100点で構成し、皆様のご来場をお待ちしております。



①《トクの女》大正2年(1913) 40.0×33.0cm
 ②《白浜の波》昭和13年(1938)頃 73.2×91.2cm
 ③《素園小景》昭和35年(1960) 80.4×65.3cm
 ④《鎮守の森》昭和29年(1954) 73.0×90.6cm
 ⑤《天地石壁園(高青丘詩意)》制作年不詳 125.5×42.7cm
 ①～④は府中市美術館蔵
 ⑤は飯田市立美術館蔵

正宗得三郎(まさむね・とくさぶろう)

明治16年 (1883) 岡山県に生まれる
 明治35年 (1902) 上京し寺崎広業の天籟画塾にて日本画を学ぶ、同年東京美術学校西洋画科に入学、青木繁、坂本繁二郎らと親しむ
 明治42年 (1909) 第3回文展で初入選
 大正2年 (1913) 文展における二科設置運動に加わり、創立会員となる
 大正3年 (1914) 渡仏しモネ、ルノアール、ゴッホらに学びマティスに出会う
 大正10年 (1921) 再び渡仏、帰国後、第11回二科展で新鮮な色調で注目される
 昭和22年 (1947) 熊谷守一、中川紀元らと「第二紀会」(後の二紀会)を結成
 昭和37年 (1962) 府中市にて逝去 享年79才



●日曜日スライドトーク

毎週日曜日午後2時から20分
 講座室 無料
 展覧会の見どころを担当者がご説明いたします。

●同時開催

常設展: 明治・大正・昭和の洋画
 小特集: 江戸時代の絵画
 牛島憲之記念館: 画風の展開
 公開制作: 大小島真木

●次回の展覧会

「絵画の現在」
 白井美穂、福士朋子、今井俊介、木村彩子らの作品を展示します。
 2018年1月13日(土)～2月25日(日)

イベント

府中の森の星祭り2017

天体観測、バントマイム、美術館外観や公園内ライトアップ等、冬の夜を彩る催し物を予定。

12月16日(土)

時間: 午後4時～7時迄
 会場: 都立府中の森公園
 及び府中市美術館



詳しくは府中市美術館のホームページをご覧ください。

正宗得三郎 MASAMUNE Tokusaburo

府中市美術館
Fuchu Art Museum

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-3 都立府中の森公園内
<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/art/>

ハローダイヤル: 03-5777-8600

□京王線府中駅からちゅうバス多磨町行き「府中市美術館」下車すぐ(8:00から毎時30分間隔で運行、100円)
 □京王線東府中駅北口から徒歩17分
 □JR中央線武蔵小金井駅から京王バス(一本木経由)府中駅行き「一本木」下車すぐお車の場合は、美術館近くの府中市臨時駐車場(無料、60台収容)をご利用ください。

